



相撲 びじろ東西

発行日
27年11月15日
十一月場所号
No.88

発行所
日本相撲甚句会
〒130-0026 東京都
墨田区両国 2-21-5
ダイカンプラザ301号
TEL. 03-3635-8834
FAX. 03-3635-8854
編集 飯田三千代
<http://www.sumoujinku.com>

土俵の感触かみしめて

御殿場相撲甚句会



大相撲春の巡業が今年の家康公四百年祭と静岡県草薙総合体育館「このはなアリーナ」の落成を記念し、白鵬・日馬富士両横綱をはじめ人気力士多数が参加し十五年ぶりに静岡でおこなわれました。御殿場相撲甚句会がはじめて土俵上でこの巡業の為に作詞した記念甚句を披露し満員の観衆から大きな拍手を頂きました。会員一同テレビでの観

戦と違った
迫力ある生
の取り組み
や力士との
交流も体験
し記念すべ
き一日とな
りました。
杉山和男

身を引き締めて

水戸相撲甚句会



こころ浮き立つ春爛漫の四月十八日(土)羽黒郷師範にはお忙しい中、遠路水戸に向いてくださり実のあるご指導を頂きました一人一人に適切なアドバイスは相当なインパクトが……時間がオーバーするほど熱が入りました。自由に楽しく唄う事も良いのですが、やはり唄の基本と合いの手がいかに大事であるか改めて思い知らされました。
佐々木勝也

祇園でのびととき

神戸相撲甚句会



神戸相撲甚句会は熊本県出身、上野氏との縁から七月十一日(土)関西やつしろ親睦会にて相撲甚句を披露する事ができました。関西には熊本出身の集まりが五十二団体ありその一つです。場所は祇園祭の鉾建でにぎわう京都。四百年前に造られた高瀬川源流庭園のある「二条苑」。来賓のやつしろ市長を迎え約八十名の会員が参集されました。挨拶の中で大相撲の地方巡業が十二月九日に八代場所として開催されるとの案内に拍手と歓声が上がリ、相撲甚句の興味と関心がより一層高まりました。あとの会食では舞妓さんの舞いに京料理を頂き、祇園囃子に送られた楽しい一日でした。
森地寿夫

九州大会 in 玄海

27年9月26日(土)

第23回九州地区相撲甚句会玄海大会



第2回大会	平成7年	長崎相撲甚句会
第3回大会	平成8年	熊本相撲甚句会
第4回大会	平成9年	大分相撲甚句会
第5回大会	平成10年	大分相撲甚句会
第6回大会	平成11年	大分相撲甚句会
第7回大会	平成12年	大分相撲甚句会
第8回大会	平成13年	大分相撲甚句会
第9回大会	平成14年	大分相撲甚句会
第10回大会	平成15年	大分相撲甚句会
第11回大会	平成16年	大分相撲甚句会
第12回大会	平成17年	大分相撲甚句会
第13回大会	平成18年	大分相撲甚句会
第14回大会	平成19年	大分相撲甚句会
第15回大会	平成20年	大分相撲甚句会
第16回大会	平成21年	長州相撲甚句会
第17回大会	平成22年	熊本相撲甚句会
第18回大会	平成23年	玄海相撲甚句会
第19回大会	平成24年	大塚相撲甚句会
第20回大会	平成25年	長州相撲甚句会
第21回大会	平成26年	熊本相撲甚句会
第22回大会	平成27年	玄海相撲甚句会
第23回大会	平成28年	玄海相撲甚句会

北 國 新 聞 2015年(平成27年)2月11日

躍進遠藤

いしかわ相撲甚句会



金沢で合同交流会
いしかわ相撲甚句会
いしかわ相撲甚句会の合同交流会(本社後援)Ⅱ写真Ⅱは10日、金沢市藤江南3丁目の金沢ゆめゆめホールで開かれ、14人が朗々と好みの甚句を披露し、利用者を楽ませた。
示野健会長は「躍進遠藤」で初場所を終えた遠藤の健闘をたたえ、3月8日から始まる春場所の躍進を願った。交流会は前唄「土俵のヤ」で始まり、出演者は「初出世」や「鶴と亀」などを歌い上げた。



花フェスタ

横浜相撲甚句会

五月十六日(土)横浜市保土ヶ谷区主催の「ほごがや花フェスタ」に参加してきました。毎年行われており、保土ヶ谷区の恵まれた地形と自然、歴史を生かしながら、花と緑と清潔で美しい町づくりを進めていくものです。それにふさわしい今回の発表でした。
那須健二

晴れ渡る秋空の中、九月二十六日(土)九州地区玄海大会が行われました。豊かな発想で楽しく甚句ができるよう、いつも新しい試みをされる吉富会長。敬老の日の兼ね合いから「長寿甚句会員」と称し80歳以上の方の紹介がありました。「イヤー若いっ／えっ／うそっ／」(私の感情)皆さん本当にお元気です。相撲甚句も若さの秘訣ですね!
また今回のテーマは「博多祇園山笠相撲甚句歌の競演」と称し、少し前の夏に行われた「博多祇園山笠」で唄われた相撲甚句を福岡出身の方々それぞれが発表の際に唄われました。最後には桂国師範が入選局のお披露目をし、哀愁を漂わせました。またこのお祭りの際に唄われる「博多祝い唄(祝いめでた)」を懇親会の席上で皆さんで唄われました。「えーいしよえー しょうえー しょうえー...」
福岡在住の方はそれぞれ相撲甚句より大きな声で合唱されるのを聞き、それはそれは感心すると同時に感慨深いものを感じました。地域ごとにこのように心に響く伝わる唄があり、いつの世も、どの場所でも、それを聞くと思わず唄ってしまう。安らかな気持ちになる。相撲甚句もこうでなくては人の心をつかめないんだと改めて思いました。
この敬老も含んだお祭りをイメージした地区大会は大成功。お疲れさまでした。

のり甚句

四十八代横綱大鵬引退甚句

天にはばたけ九万余里をヨリ

ア一思節の心をそのオオのうけて飛立つ上儀上

不屈の斗志を突き進め 史エが初の最年少

四十八代横綱大鵬が 残せし記録を教しれず

三十二回の優勝と 四十五戦の連勝に

王座にすわる十余年 大鵬時代と唄われ

餅をまわしよ心技体相撲歴史の名を刻む

たぐい稀なる名力士 あまたファンに惜しまれ

菊のかぶりも残しつつ 本日引退大相撲

これカツ親方大鵬の 第二の翼ひろくよう

どうぞ御支援ねがいます

幟のこんな素敵に
活用も承ります！

金子初夫

初孫の誕生
孫のいろ葉は何も関
心はありませんが
五月晴れの薫風の中
に幟が光り輝いてい
ました。
とても良かったです。
横浜甚句会



おとすんと

朝晩はひとときわ冷え込む季節となつて参りました。今年最後の九州場所も始まり、一年の早さを身にしみて感じます。

今年も沢山の皆様の「相撲甚句」を聞かせて頂きました。相撲甚句は「心を打つ」唄としては日本人ならではないかと思えます。「感動しました」と感じる人が必ずいらつしやる。最初は自分の為に始めた甚句かもしれないけど、いつしか人を感動させる人の為の唄になつていく。これは素晴らしい事だと思いませんか？江戸時代から伝わる「相撲甚句」は時代とともにきつと少しづつ変化はしているのでしょうか、平成の世になつた今でも「心を打つ」唄なのは間違いありません。これは五感がその感じさせるのでしょうか。耳伝いで伝わってきた相撲甚句ですから、これが正しいという音符もありません。一番大事な事は「自分の味」を出す事です。自信を持って大きな声で「人に伝える味」を出す。それが人を感動させるのだと感じます。あなたにもあなたの味があります。何時も精進！誰でも精進！

二三代

これからの予定

平成28年

2月13日(土) 鹿島主催 関東大会

2月27日(土) 総会 両国ベルグラデ

4月14日(木) 創始者 永男命日

5月28日(土) 相撲甚句 全国大会